



厳しい暑さがやっと過ぎ、読書の秋を迎えました。今回は日立市出身の作家を紹介します。みなさんはどのくらい知っていますか？郷土の作家をぜひ応援しましょう！



図書館HP



電子書籍
アニメ

図書館おすすめの日立市出身の作家

2024年 第70回
江戸川乱歩賞 受賞！
『フェイク・マッスル』
講談社 2024.8



ひの えいたろう
日野 瑛太郎 さん

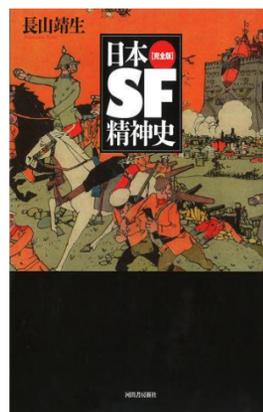
1985年日立市出身。
東京大学大学院工学部系研究科修士課程修了。

第67～69回にかけ、江戸川乱歩賞の最終候補となっていた。

第70回での受賞について、都内で行われた記者会見にて、「スタートラインに立ったに過ぎない。これからも皆さんを楽しませるような物語を書き続けていきたい。」と語った。

「茨城新聞」2024.5.11 記事より

2010年 第31回
日本SF大賞 受賞
『日本SF精神史
幕末・明治から戦後まで』
河出書房新社 2009.12



ながやま やすお
長山 靖生 さん

1962年茨城県生まれ。
評論家。歯学博士。

歯科医の傍ら、近代日本の文化史・思想史から、文芸評論や現代社会論まで、幅広く執筆活動を行っている。

『偽史冒険世界』(ちくま文庫)で大衆文学研究賞受賞。
『日本SF精神史』より

2010年 第20回
椋鳩十児童文学賞 受賞
『ぼくとあいつのラスト・ラン』
ポプラ社 2009.12

児童文学作家
ささき

佐々木 ひとみ さん



記念図書館で撮影

茨城県生まれ。
宮城県在住。

作品に『みちのく妖怪ツアー』(共著・新日本出版社)、
『兄ちゃんは戦国武将!』(くもん出版)などがある。

『みちのく妖怪ツアー』より

図書館職員がおすすめしたい本

『漫画「瀬祭」の挑戦 山奥から世界へ』

著：弘兼憲史
サンマーク出版 2020

昔ながらの職人＝杜氏の「経験と勘」に頼っていた酒造りを、誰にでもわかりやすいように「見える化」するなど、日本酒の世界では常識破りで知られた「瀬祭（だっさい）」の成功物語。

純米大吟醸「瀬祭」は他の日本酒とは何が違うのか、世界中が驚嘆した技術とは何か。世界中で愛されるブランドをどのようにして生み出したのか。失敗と挫折を繰り返しながら挑戦し続けた軌跡を弘兼憲史が漫画で描いています。（田切）



『あの夏が飽和する。』

著：カンザキ イオリ
河出書房新社 2020

誰だって環境次第では人殺しや裏切り者にもなれるし、自虐に走ることもできてしまう。普通だったらやりもしないことを、簡単に行動を起こすことができってしまうスイッチが誰の心にもあります。

過去から逃げ出せないから押す人、人恋しくて寂しいから押す人、誰かが憎くてたまらないから押す人、自分が一番になりたいから押す人など、スイッチを押す理由は人それぞれです。スイッチを押さないと、どうしようもない人達もいます。

みなさんの心のスイッチをどういう時に押すべきか、どういった感情で押すべきかなど、心のスイッチを押す、一つの判断材料になれば幸いです。

この本は、日立市の図書館にも所蔵している本なのでぜひ読んでみてください。（菅野）



はたらくくるま大集合！！

in シーマークスクエア 

シーマークスクエアにはたらくくるまが大集合します。
移動図書館「たかすず号」も初出展！！
貸出も行いますので、ぜひご利用ください。



◆移動図書館専用カードが必要です。
初めて利用される方は身分証明書
をお持ちください。

撮影会もあるよ！



10月19日(土)

10月20日(日)

10時～16時

